

仙人通信 225 小倉山(955m)・上条山(996m)

小倉山は、JR 中央線塩山駅の北側・青梅街道と県道平沢千野線を 3 km程進んだ位置にある山で、春にザゼンソウが咲く事で有名な山である。

ザゼンソウを観察する人の為に設けられた駐車場に車を置き、ザゼンソウの生育地を抜けて小倉山・上条山・船宮神社から川沿いの登山道を駐車場に戻るコースとした。

竹森川に架かった立野橋を渡り右に折れ、草路を進んだ先がザゼンソウの生育地である。見学コースが設けられているが、この時期は保護する目的で何本もの通電した裸線で囲まれている。そんな中に設けられた登山道を 15 分程進むと檜林からカラマツの林となり、その先に草地が開け、15 分程で小倉山の展望台と上条山の分岐する尾根だ。

右に曲がり展望台のある小倉山の山頂を目指す。

尾根の右側は檜林、左手は赤松等を含む落葉樹で、この時期は日の光が殆ど注がない。雨が多かった事もあり、赤土のコースはぬかるんでいた。注意しながら 10 分程進むと、山頂の 2 階建ての可愛い展望台である。富士山は木陰に阻まれて裾野が辛うじて見える程度あるが甲府盆地の上には、御坂から北岳を北限とした山並みが望めた。地図を広げて山名を確認しながら暫し休憩となった。先程の分岐点まで 10 分程で戻り、上条山に向かう。尾根道ではあるが主体が落葉樹となり、明るいコースとなった。20 分で 5 コ目の小さなピークで南側が開け、御坂山塊の上に富士山を確認した。更に 10 分程で上条山の山頂である。この山塊に入るいま一つの駐車場がある上条峠方面のコースと別れて平沢集落方向に向かう。小さなせせらぎがあり、微かな水音と小鳥たちのささやき、そしてこの時期朽ちた木にサルノコシカケ等のキノコ等と静かな下山道である。20 分ほど歩くと集落と船宮神社をすす道標である。船宮神社方向を選択し進む。

先程のせせらぎに架かる橋を渡り僅か登ると、太陽光発電の設備が並ぶポイントだ。

ここからはフェンスに従い進むのであるが、登山者も無い事からこの夏に伸びたススキが背丈程になり登山道を塞ぐ。掻き分け 10 程で先程のせせらぎとなり、5 分程で、船宮神社である。県指定の大きな杉の木がこの神社を取り巻く様に保存されている。

神社の左手のコースを進む。瀬音が気持ち良い竹森川を右下に見ながら進むコースである。車が走れる路を 10 分も進んだら道が消えてしまい。目測で進むと先ほどのせせらぎに行きあたる。石を頼りにせせらぎを渡り進むと、先程の太陽光発電所の門前に出ることが出来た。登る際に渡った立野橋を渡り駐車場に戻った、誰にも会う事も無く静かな 2 時間 30 分(11000 歩)の山旅となりました。

(R4.10.20)

小倉山山頂

御坂から北岳までが望める山頂

上条山山頂

船宮神社

